

イギリスで愛される日本の小説

イギリスでは2022年頃から若い読者を中心に日本小説のブームが続き、翻訳小説市場の大きな割合を日本の小説が占めています。当カタログ表面では、イギリスの読者に人気の作品をご紹介します。

猫、カフェ、書店

しばしば猫が登場し、カフェや書店を舞台に心の繋がりと人生の悲しみを穏やかに描く「癒し系」の小説、“cosy Japanese fiction”は、文学批評の対象にこそ上がらないものの一般読者から広い支持を得ており、イギリスにおける日本文学人気を実質的に牽引する存在です。

八木沢里志『森崎書店の日々』ほか

Document ID: 7220473、\$7.99

2023年に口コミで大ヒット。翌年、翌年には続編と原作者の新作『純喫茶トルンカ』が続々と翻訳刊行し好評を得ている。

柏井壽『鴨川食堂』シリーズ

各\$95。京都を舞台にした、食と記憶にまつわる心温まるミステリー。

有川浩『阪急電車』

Document ID: 31885169、\$95.00

原作は2008年刊行。同作者の『旅猫リポート』(Document ID: 6059648)のイギリスでの大ヒットを受け、2025年に翻訳刊行。

柊サナカ『人生写真館の奇跡』

Document ID: 31048346、\$130.00

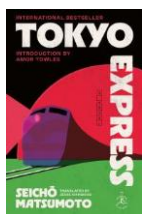
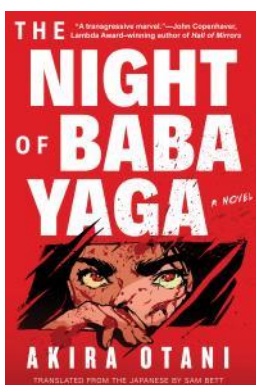
石田祥『猫を処方いたします』シリーズ

Document ID: 31880352、31212689

望月麻衣『満月珈琲店の星詠み』シリーズ

Document ID: 31889561、30960879

各\$95.00 など



ミステリー、ホラー、スリル

日本のミステリーは近年イギリスで人気を拡大しており、新作から古典まで様々な作品の英訳版が新たに刊行されています。

王谷晶『ババヤガの夜』

Document ID: 30766324、\$17.95

2025年、イギリスの権威あるミステリー文学賞、ダガー賞の翻訳部門を日本人として初めて受賞。女性達が主役のバイオレンスアクション。

雨穴『変な家』『変な絵』各\$16.34

Document ID: 32129276、31783652

挿絵を多用した引き込まれる構成でイギリスでもヒットし、翻訳作家売り上げ6位にランクイン。

松本清張『点と線』『ゼロの焦点』、\$12.49～

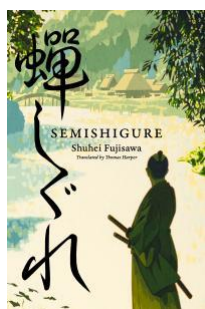
Document ID: 31821995、30735953

「日本のアガサ・クリスティ」として横溝正史とともに近年再発見される流れにあり、新訳が刊行。

英語で読む日本の文学
話題作、娯楽作品を中心に、最近新しく英語で翻訳刊行された日本の文学作品をご紹介します。日本研究の資料として、また英語多読の教材としてもお勧めです。電子書籍サービスEbook Centralで、一冊から購入できます。

世界に送り出された日本文学

裏面では、最近新しく翻訳刊行された様々なタイトルをご紹介します。



藤沢周平『蟬しぐれ』

Document ID: 31874909、
\$12.49

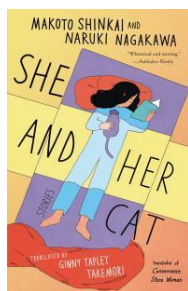
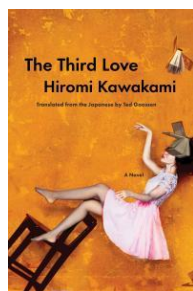
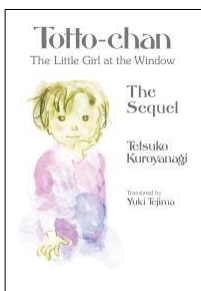
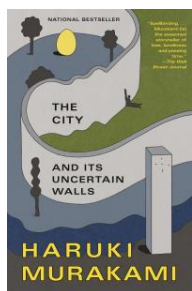
国内では人気だが、英語圏にはこれまでほとんど紹介されてこなかった「サムライ小説」のジャンルから、藤沢周平の名作が2025年に初の英訳。



市川沙央『ハンチバック』

Document ID: 31496533、
\$95.00

一私の身体は生きるために壊れてきた。—
国際的にも高い評価を得た、2023年芥川賞受賞作の英訳版。



村上春樹『街とその不確かな壁』

Document ID: 31181926、\$95.00

黒柳徹子『続 窓ぎわのトットちゃん』

Document ID: 32011075、\$13.99

川上弘美『三度目の恋』

Document ID: 31889618、\$30.00

新海誠・永川成基『彼女と彼女の猫』

Document ID: 7107084、\$60.00

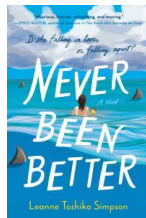
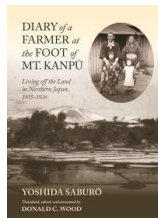
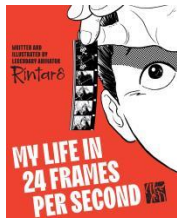
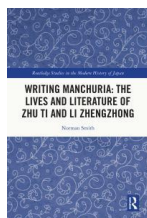
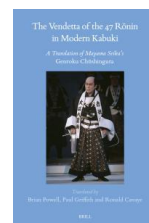
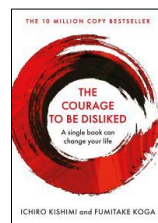
岸見一郎・古賀史健『嫌われる勇気』

Document ID: 32272511、\$16.34

2018年の翻訳版刊行からロングヒット中、世界1,300万部を突破。

真山青果『元禄忠臣蔵』 Document ID: 31781100、\$160.00

1941年初演、忠臣蔵を再解釈し傑作と名高い歌舞伎の戯曲の初の英訳。



そのほか、古典、ノンフィクション、郷土史、エッセイ、英語で著述する日系作家の小説など、様々なタイトルをご提供しています。
全点リストは紀伊國屋書店までご請求ください。

洋書参照のハードルを劇的に下げる便利な機能。ブラウザ翻訳でAIによる解説が日本語で読める！

Ebook Central専用のAIツール

Ebook Centralリサーチ・アシスタントは、章ごとに論点をまとめたり、キーワードを解説する機能を持つ便利なAIツールです。利用者の学びをサポートし、学生が学術的な調査力と批判的思考を養えるように設計されています。

論点のまとめ、キーワード解説を日本語に

Ebook Centralリサーチ・アシスタントの応答は、お使いのブラウザ（Chromeなど）の翻訳機能を使って簡単に日本語に翻訳できます。章ごとの論点のまとめ、キーワード解説を日本語で読めるので、洋書を参照することが格段に容易になります。

Ebook Centralをご利用の方はどなたでもEbook Centralリサーチ・アシスタントを利用できます。今すぐお試しください！

※試し読みの書籍、出版社がAI利用を許諾していない書籍には、AI機能は表示されません。※ブラウザ機能による翻訳は必ずしも正しいとは限りません。ブラウザの翻訳機能を保証するものではありません。



ブラウザ翻訳

AIによる章ごとの論点のまとめ、
キーワード解説が日本語に

